

5 大野市

ペリスフィンクテス・マツシマイ

ペリスフィンクテス・マツシマイは、後期ジュラ紀オックスフォードアン期(約1億6000万年前)に生息していたアンモナイトです。明治21年に大野市長野で初めて発見され、後に東京帝国大学教授の横山又次郎氏によって新種記載されました。本種の種小名は、発見者の松島鉦四郎氏に献名されたものです。近年、長野ダム付近で行われた公共工事の際、保存良好な標本が多数採集されました。実物標本は和泉郷土資料館で展示されています。

和泉郷土資料館(大野市朝日25-7)



6 池田町
おうけつぐん 甌穴群

町指定文化財(名勝)

「日本の滝百選」に選ばれた龍双ヶ滝から少し下流にあります。気の遠くなるような時間をかけて流されてきた岩や石が川床を削り、あちこちに丸く大きく落ちくぼんだ穴をつくりあげました。ポットホールとも呼ばれるこの造形美は町の指定文化財になっています。

(池田町東青)



8 南越前町

アカタン砂防堰堤群



アカタン砂防松ヶ端堰堤

日野川の支流、田倉川に注ぐ溪流赤谷川に、明治30年代に築かれた砂防堰堤群です。明治28、29年に福井県下を襲った豪雨により、赤谷川では土石流が発生し甚大な被害を受けました。このため、岐阜県から砂防専門官及び石積み専門工を招き集め、9基の砂防堰堤が築かれました。この時の堰堤は今も機能しており「アカタン砂防」として親しまれています。国の登録有形文化財になっています。

(南越前町古木)



アカタン砂防奥の東堰堤

7 越前市

市川鉦物研究室 収蔵標本



市川鉦物研究室収蔵標本は、日本の鉦物学研究的黎明期にあたる明治・大正・昭和初期にかけて、水晶の蝕像を研究し続け、世界的な研究業績を残した、世界的鉦物学者市川新松氏が研究に使用した鉦物標本のコレクションです。木造2階建の研究室には、新松氏が研究していた当時そのままの状態で、7,700点の鉦物標本が収蔵されています。標本類は、国の登録記念物になっています。(見学問合先)越前市北新庄公民館 電話(0778)23-4604

(越前市中新庄)

国登録記念物

我々の身近にある石。嶺北11市町には、特徴のある「石」がたくさんあります。数億年前に形成された化石から、太古の人々が使用したアクセサリ、鎮魂や祈りのための石棺や石造物、建物の基礎やお城に代表される建築資材など。その材質や色などの特色を最大限に利用した様々な文化資源があります。ここに掲載したものの以外にもまだまだ文化資源がたくさんあります。ぜひ、みなさんも探してみてください。



石をもっと知るための施設

歴史

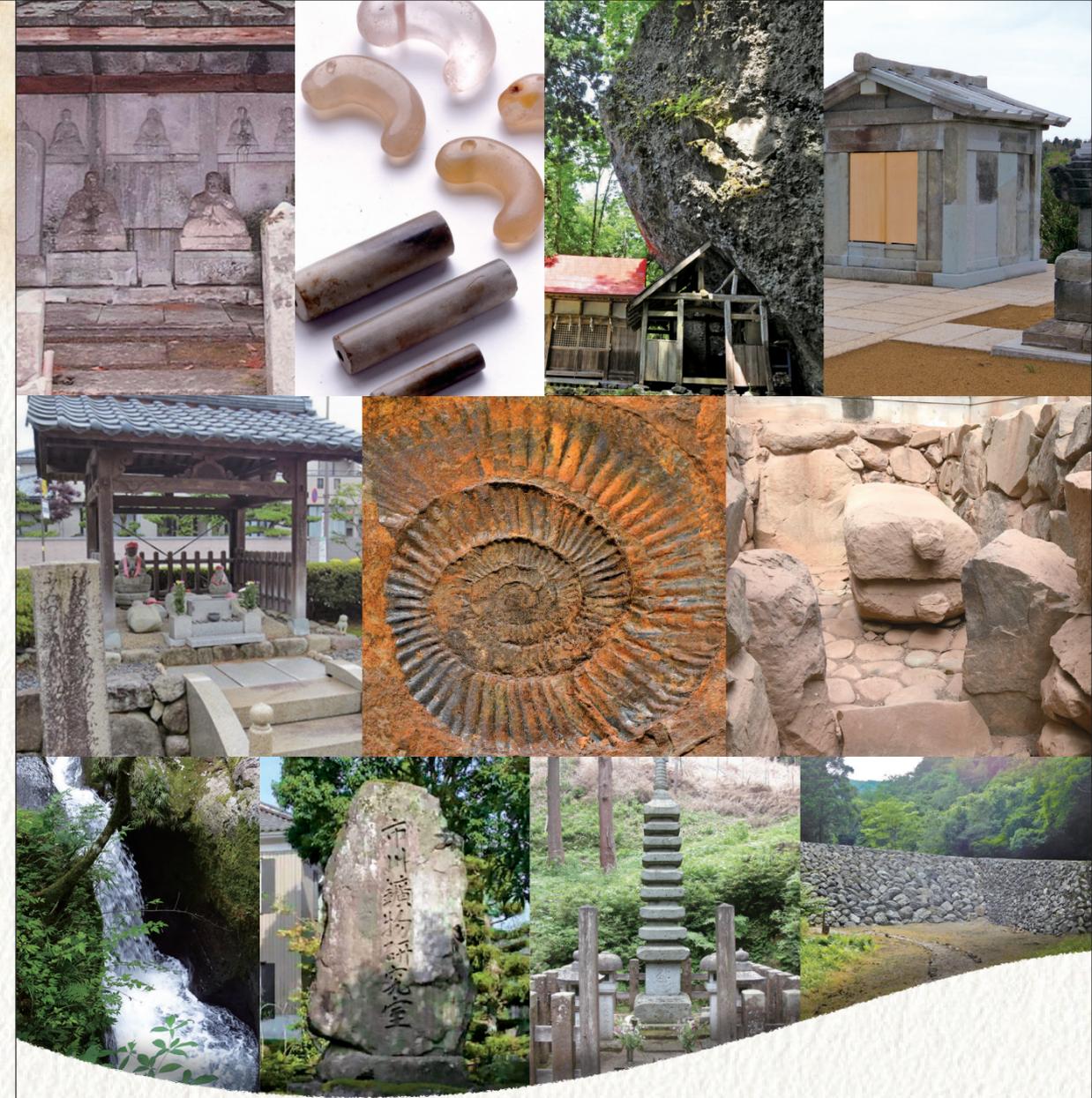
施設	電話番号	開館時間	入館料	休館日
① 福井市 福井市立郷土歴史博物館 福井市宝永3丁目12-1	(0776) 21-0489	9:00~19:00 (入館は18:30まで) 11/6~2月末日までは17:00閉館	平常展示観覧料220円、養浩館庭園との共通観覧・入園料350円 中学生以下・70歳以上・障がい者の方(付き添いの方は無料)	年末年始 (12/28~1/4)
② 大野市 和泉郷土資料館 大野市朝日25-7	(0779) 78-2845	9:00~16:00 日曜・祝日 9:00~17:00	300円 中学生以下は無料	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始 (12/27~1/4)
③ 勝山市 白山平泉寺歴史探遊館まほろば 勝山市平泉寺町平泉寺 66-2-12	(0779) 87-6001	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	無料	年末年始 (12/29~1/3)
④ 鯖江市 鯖江市まなべの館 鯖江市長泉寺町1-9-20	(0778) 51-5999	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	100円 小・中学生50円 小学生未満は無料	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日、年末年始 (12/29~1/3)
⑤ あわら市 あわら市郷土歴史資料館 あわら市春宮2丁目14-1	(0776) 73-5158	9:30~18:00 (入館は17:30まで)	無料	月曜日・毎月第4木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12/29~1/3)
⑥ 越前市 越前市武生公会堂記念館 越前市蓬菜町8-8	(0778) 21-3900	10:00~18:00 (入館は17:30まで)	無料 (特別展・企画展は有料)	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12/28~1/4)
⑦ 坂井市 みくに龍翔館 坂井市三国町緑ヶ丘4-2-1	(0776) 82-5666	リニューアルのため、令和5年春頃まで休館		
⑧ 越前町 越前町織田文化歴史館 越前町織田153-1-8	(0778) 36-2288	10:00~18:00まで (入館は17:30まで)	100円 中学生以下・70才以上の方は無料	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12/28~1/4)

自然

施設	電話番号	開館時間	入館料	休館日
⑨ 福井市 福井市自然史博物館 福井市足羽上町147	(0776) 35-2844	9:00~17:15まで (入館は16:45まで)	100円 中学生以下・70歳以上・障がい者の方は無料	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 (12/28~1/4)
⑩ 勝山市 福井県立恐竜博物館 勝山市村岡町寺尾51-11	(0779) 88-0001	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	一般730円、高・大学生420円、小・中学生260円、未就学の幼児・70歳以上の方は無料	第2・第4水曜日、年末年始 (12/29~1/2)

発行元 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン文化振興事業推進部会(令和3年3月)
福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町

問合先 福井市商工労働部観光文化局文化振興課
〒910-0858 福井市手寄1-4-1 AOSSA 5階 TEL.0776-20-5367 FAX.0776-20-5670



ふくい嶺北11市町の

TREASURE PLACE



1 あわら市 市指定文化財(建造物)
 たがや さこんみつねせきびょうつたたくようごりんとら
多賀谷左近三経石廟 附供養五輪塔

福井県内では小祠的な石廟が大半を占めるなかで、本石廟のように大型のものは珍しく、また、屋根に板石を持つ石廟は瀧谷寺開山堂を除いてみられず貴重です。内部に安置されている宝篋印塔は、刻まれた銘文から、江戸時代初期にあわら市柿原を中心に治めた、多賀谷左近三経の墓とわかります。三経が亡くなった慶長12年(1607)頃に建てられたと思われます。倒壊していた石廟を、平成28年度にあわら市が復元しました。(あわら市柿原36-40)



2 越前町 国指定重要文化財(建造物)
 おおたんじくじゅうのとう
大谷寺九重塔

大谷寺九重塔は天平神護3年(767)に大谷寺で入寂したと伝えられる泰澄大師の御廟所で、昭和32年(1957)、重要文化財に指定されました。総高447.5cmを測る笏谷石製の層塔で、基壇・基礎・初層軸・九層の屋根・相輪から構成されます。初層軸には阿弥陀如来・聖観世音菩薩・勢至菩薩を表す梵字が施され、基礎正面には「元亨第三・癸亥・三月四日・願主金資・行現・大工平末光」の銘文が認められます。(越前町大谷寺42-4-1)

国指定重要文化財(建造物)



大谷寺九重塔銘文

4 坂井市 国指定重要文化財(建造物)
 たきだんじかいざんどう
瀧谷寺 開山堂

瀧谷寺は、永和元年(1375)僧睿憲によって開創された真言宗寺院です。瀧谷寺開山堂はその境内にあり、元龜3年(1572)、坂井郡の豪族であった堀江氏一族により建てられた墓所です。石材は全て笏谷石を使用し、四十九院の玉垣を配置しています。国内でもこれだけ大型の石造建造物は珍しく、建立時期も古い上、年代もはっきりしているため、貴重であり、国の重要文化財になっています。(坂井市三国町瀧谷1丁目7-15)



(坂井市三国町瀧谷1丁目7-15)

3 鯖江市 地蔵橋



地蔵橋全景

鯖江市本町4丁目にある大小様々な石造地蔵菩薩像。織田信長による越前侵攻の際、付近にあった長泉寺の坊院が兵火に遭い、織田軍は石仏を谷川へ投げ込み進軍したと伝わっています。後年、長泉寺の僧の夢に、放置されている地蔵尊が現れ「我が体を踏ませて、通る衆生に功德を与えよ」とのお告げがあり、北陸道の小川にかかる橋として利用したのが地蔵橋の由来とされます。(鯖江市本町4丁目3)



地蔵橋

9 永平寺町 県指定文化財(史跡)
 かすが やまこふんせつかん
春日山古墳石棺



松岡公園の入口付近に位置している春日山古墳は、古墳時代末期に築かれた円墳だと思われます。現在残っている墳丘内部の埋葬施設は、覆屋をかけて保護されています。覆屋の側面からは、両袖式の横穴石室に安置されている舟形の横口式石棺を間近に見ることができ、この形式の石棺は、福井県では唯一の品です。春日山古墳と、隣にある泰遠寺山古墳から出土した石棺は、県の指定文化財になっています。(永平寺町松岡堂)



(永平寺町松岡堂)

10 福井市 県指定文化財(考古資料)
 はなのたにごうふんしゅつとたまるい
花野谷2号墳 出土玉類

花野谷2号墳は福井市北東部の丘陵上に位置した古墳時代中期の全長19mを測る前方後円墳です。玉類は墳頂部に設けられた埋葬施設から多数の鉄製品とともに大量に出土しました。その内訳は水晶製勾玉、緑色凝灰岩製管玉、滑石製白玉などです。特に白玉は全国でもトップレベルの出土量です。福井市文化財保護センター(福井市洲4丁目748)



勾玉(上)と管玉(下)



11 勝山市 大矢谷白山神社

大矢谷白山神社境内には、高さ約15mにおよぶ巨岩があります。その麓には奥行き4m、幅10mの大きな岩陰があり、白山神社の本殿、拝殿が建てられています。ここは、白山を開いた泰澄が修行した場所であると地元で伝えられてきました。神社周辺に大岩が点在する景観は、修行場としてふさわしいものです。(勝山市平泉寺町大矢谷18堂ノ前7)



「石」という字は、「厂(がんだれ)」の下に「口」と書きます。白川静博士によると、「がんだれ」は崖を表し、容易に人が近づけない神が住まう場所、「口」は神への祝詞を入れる器を意味するとしています。つまり、神が宿る場所が「石」なのです。その石に宿る神さまに会いに、壮大な石の冒険に出かけてみましょう!!